

FCENAシリーズ 2019年度 機能アップ計画

2019年 8月 第1版
富士通エフ・アイ・ピー株式会社

1. 全体計画

◆2019年度 FCENAシリーズ機能改良の全体計画

パッケージ名	バージョンアップ	レベルアップ
斜面安定計算システム COSTANA	-	Ver.19.1→ Ver.19.2 (2019年8月)
液状化判定システム [地震応答解析対応] LIQUEUR	Ver.16 → Ver.17 (2020年2月予定)	-

2. 各パッケージの機能改良計画

◆ 斜面安定計算システム COSTANA

分類	機能強化内容
切土補強土工法 (ネイリング)	【計算】「ネイリングの周面摩擦角抵抗 τ 」を深度方向で自動計算する機能※
	【計算】補強材上部又は下部の1本目の設置位置(座標もしくは法肩からの距離X,Y)と間隔と本数を入力することで自動配置する機能※
ニューマーク法	【計算】「NEXCOニューマーク法(高さ30m未満の盛土)」で3波平均で滑動変位を求める機能※
	【計算】最小降伏震度のすべり線の算出およびニューマーク法の滑動変位量の算出を同時計算する機能
	【出力】「NEXCOニューマーク法(高さ30m以上の盛土)」で滑動変位を求めた際に使用された等価加速度波形データをCSV形式で出力する機能※

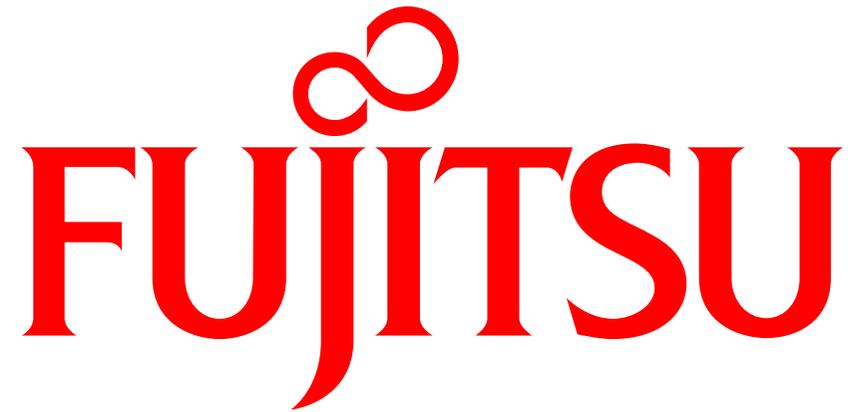
※印は、顧客満足度アンケートで追加機能要望一覧にあった項目です。

2. 各パッケージの機能改良計画

◆ 液状化判定システム [地震応答解析対応] LIQUEUR

分類	バージョンアップ内容
基準対応	【液状化判定】「高圧ガス設備等耐震設計基準(高圧ガス保安協会)」に対応
計算	【液状化判定】測定深さと液状化判定を行う地層区分を別々に設定し液状化判定を行う機能※
	【液状化判定】液状化判定を複数ケース同時に実施する機能※
	【地盤応答解析】周波数依存型減衰(FDEL法相当)の機能強化※
	【有効応力解析】要素シミュレータでソフトウェア内部データのBp,Buから補間した値を自動計算する機能の強化
入力	国土交通省「地質・土質調査成果電子納品要領」のボーリング交換用データ(XML,DTDファイル)連携機能※
	表入力時のマウス制御の機能向上(右クリックメニューの追加)※
出力	作図、報告書オプションの機能強化(オブジェクト情報コピー&ペースト、選択項目印刷等)
メニューのリボン対応	最新のWindowsアプリケーションで標準化されているメニューのリボン化に対応

※印は、顧客満足度アンケートで追加機能要望一覧にあった項目です。



shaping tomorrow with you